

「官民協働による魅力ある観光地の再建強化事業」について

運輸部では、魅力ある観光地づくりを推進するために、地域が旅行会社など民間事業者等と連携し、地域の特色ある資源の発掘、旅行商品の造成及び情報発信を行う「官民協働による魅力ある観光地の再建強化事業」を実施しました。

全国では613件の応募の中から、78件が採択され、沖縄県からは、①都会の子ども及びその保護者をターゲットに、石垣島の自然や伝統文化の体験及び民泊により島の人々の生活を体験し、家族の絆の大切さや家族で支え合って生きていくことの重要性を学ぶ「石垣島子育て道場」、②野球愛好家をターゲットに、元プロ野球選手による指導やトレーニング、草野球チーム同士の試合を通じた交流など、プロ野球キャンプの疑似体験を味わうことができる「草野球キャンプin宮古島」、③大宜味村の特産品のシークワサーの収穫やシークワサーの木を使った箸づくり体験などを通して、地域の人々とのふれあいを体感できる「おおぎみまるとシークワサー体験（黄金の果実を

味わおう）」が採択されました。

各地域には観光資源を活用した魅力ある旅行商品の造成に精通した「目利き」を派遣し、市場調査やワークショップなどを踏まえ、その地域ならではのモニターツアーを企画・催行しました。

いずれの地域も、参加者の満足度が高かった反面、プログラムの内容の更なる充実や、地域の受入体制の強化など、取組を継続していく上での課題もあり、

これを踏まえ、今後各地域が取組の向上に努めていきます。

また、2月1日（土）から2日（日）にかけて、全国の78地域が一堂に会し、「タビカレ（※）学園祭」が東京ビッグ

サイトで開催され、旅行会社等の関係者のほか多くの一般参加者に対し、取組の紹介や地域の魅力をPRしました。

運輸部では、平成25年度補正予算により「観光地ビジネス創出の総合支援

事業」を実施し、引き続き、観光地域づくりの主体となる団体等の自立的な運営や地域の担い手の育成などを支援していくこととしています。

※「タビカレ」とは、国内観光の魅力を遊んで学ぶ場として観光庁が設置した架空の教育機関「日本タビカレッジ」のこと。



石垣島子育て道場



草野球キャンプ in 宮古島



おおぎみまるとシークワサー体験（黄金の果実を味わう）